

日本心血管理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」
海外の専門情報

No.29

調査者	山本 周平、井澤 和太、加藤 倫卓
情報ソースの刊行日	2020年4月7日
情報ソースの調査日	2020年4月26日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2020年5月3日
日本語タイトル	COVID-19による末期心不全: 2019-nCoVによる心筋障害の強力なエビデンス
情報ソース	Dong et al. End-stage Heart Failure with COVID-19: Strong Evidence of Myocardial Injury by 2019-nCoV, JACC Heart Fail. 2020 Apr 7: S2213-1779 (20) 30200-6
情報のカテゴリー	心疾患全般
発信地域	アジア (中国)
DOI	10.1016/j.jchf.2020.04.001
URL	http://heartfailure.onlinejacc.org/content/early/2020/04/07/j.jchf.2020.04.001
要約	<ul style="list-style-type: none"> COVID-19に感染した入院中の重症心不全患者4人を、1月7日から3月15日まで後方視的に調査。 4人の患者には、著しい左室拡大と左室駆出率の低下(全員NYHA IV)が認められた。 COVID-19感染中に発熱した患者は認められなかった。また、COVID-19診断時は、軽度の咳や倦怠感のみであった。 胸部CTで典型的なすりガラス状の変化を認めたのは、4人中、2人のみであった。 4人中3人の患者のトロポニンI (troponin I: TNI)は上昇した。その3人中2人の患者のTNIは20倍以上上昇した。
最も注目するポイント 理学療法にどのように役立つか?	<ul style="list-style-type: none"> 発熱が無い、またはコンピューター断層撮影(computed tomography: CT)で異常所見がなくてもCOVID-19が陽性となる可能性がある。 COVID-19に感染した末期心不全患者を担当する際には、心筋障害を併発するリスクがあるため、心筋障害を示唆するTNIのモニタリングが必要である。